

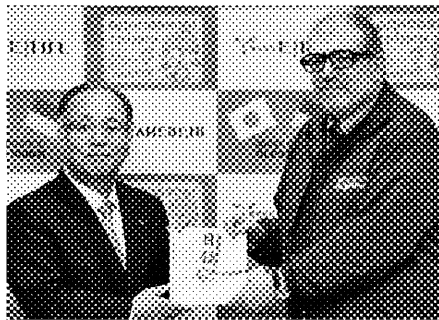
たけびし、ウクライナ市民を支援

使い捨てカイロ5万個届ける

早期終結と支援の輪が広がるのが願い。たけびしはロシアの侵攻で苦しむウクライナの人々を支援するため、5万個の携帯（使い捨て）カイロを災害人道支援などに取り組む国際非政府組織（NGO）の協力を得て空輸で送った。週内にも同NGOのポーランド支部を経由し、食糧などのほかの支援物資と一緒にウクライナ各地へ届けられる

現状を憂うたけびし社員の提案が起点。同国は北海道より北に位置して寒く、度重なる攻撃で停電が相次ぐ。欧州で使い捨てカイロのカイロはあまり普及していないことから、使い方を分かりやすく示すイラストも社員が作り、段ボール箱に貼り付けて送った。

トムソン代表理事に目録を手渡す小倉社長（左）



小倉勇たけびし社長は「困っている方々への支援を根気強く、輪を広げながら行っていく必要がある」と指摘。国際NGOオペレーション・プレッシング日本支部のドナルド・トムソン代表理事は「戦争が終わっても問題はすぐに解決しない。長い支援が必要。日本からの多くの支援にウクライナの人々はすごく感謝している」と話した。たけびしは産業用電機・電子機器を扱う技術商社。（京都）